

「物事を（広い視野から）多面的・多角的に考える」 を重点とした道徳科の授業づくり

小学校第3学年 道徳科学習指導案

1 **主題名**「気持ちをつたえ合う」（内容項目：B 相互理解、寛容）

2 **教材名**「なんと言ってつたえる？」

（出典「小学校道徳3 はばたこう明日へ」教育出版）

3 **主題設定の理由**

中学年における「相互理解、寛容」は「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。」とある。これらの心情を育むためには、三段階に分けて考えることができる。第一段階は自分の考えや意見をもつこと、第二段階はそれを相手に伝えること、第三段階は自分と異なる意見に気づき、相手を理解しようとするところである。これらの段階を踏むことで、異なる意見を大切にしようとする心情が育まれると考える。

本校の児童は、第二段階から第三段階に当てはまる。第二段階の児童は語彙力に課題があり、自分の気持ちをどのように言葉にすればよいのか分からず、第三者の仲介を通してようやく伝えられる場合がある。第三段階の児童は「相手を理解する」という点で悩んでおり、意見が異なることに気づきながらも「違う」ということに抵抗感があり、相手を否定したり、意見を押し通そうとしたりすることがある。

本教材は、主人公「みか」の悩みを通して、自分の気持ちの伝え方を考えることができる教材である。本校の児童と同様に第二段階で悩んでいる主人公にアドバイスをすることで、さまざまな伝え方を知る機会をつくることができる。また、登場人物を4つのタイプに分類し、それぞれの感じ方や考え方を共有することで、第三段階に悩む児童に、相手を理解しようとするきっかけを与えることができる。

4 **本時のねらい**

登場人物の悩みに対してアドバイスを考えたり、それぞれの立場から気持ちを伝え合うことについて考えたりすることを通して、周りのことを考えながら自分に合った伝え方を考え、実践しようとする心情を育てる。

5 **本授業のポイント**

- ①児童が自分事として、テーマを捉えられるように、事前に取り組んだアンケートの結果を提示する。（導入）
- ②自分の気持ちを伝える言い方を知るために、主人公に対するアドバイスを考える。（展開1）
- ③「伝える」ことについて多面的にとらえるために、気持ちを伝える際の言動を4つのタイプに分け、そのグループごとに話し合ったり、各グループの意見を聞いたりする。（展開2）

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や 評価の観点 等
導 入	<p>1 気持ちをつたえ合う場合に、自分がどういう気持ちになるのか、クラスのみんながどんな対応をするのか知る。</p> <p>赤：自分のしたいことや考えをはっきり言う。 黄：自分のしたいことはあるけど、周りに合わせる。 緑：こだわりがなく、なんでもいい。 青：誰か一人の意見に合わせる。</p> <p>○クラスみんなはどのタイプが多いと思いますか。 ・赤色が多いと思う。 ・みんな違う色じゃないかな。</p> <p>○結果を見てどう思いましたか。 ・思ったよりもいろんな色の人があった。 ・やっぱり赤色が多い。 ・自分と同じ色の人が出てよかった。</p> <p>2 テーマを確認する。</p> <p>○この結果から、今日みんなが考えていきたいことは何かな。 ・伝え方 ・言い方 ・友達の気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 気持ちをつたえ合うためにひつようなことを考えよう。 </div>	<p>4つのタイプは、本時の後半でも使用するため、児童が把握しやすいように、板書する。</p> <p>クラスの状況を知るためなので、無記名のもを提示する。</p>
展 開 ①	<p>3 教材文を読み、主人公「みか」の悩みを解決するためのアドバイスをする。</p> <p>○みかさんは、何タイプだと思いますか。 ・黄色だと思う。 ・赤ではない。 ・黄色に近い青色かな。</p> <p>○みかさんは、なぜ友達に自分の気持ちを言えなかったのでしょうか。 ・嫌われたくなかったから。 ・まりかさんに怒られると思ったから。 ・みんなが、ジャングルジムで遊びたそうだったから。</p> <p>○みかさんは、何と言って気持ちを伝えればよかったか、ワークシートに書いてみよう。 ・みんな、ごめん。実はジャングルジムが怖いんだ。 ・ジャングルジムはこの前も遊んだから、別の遊びにしない？ ・ちょっとほかの遊びがいいな。 ・ジャングルジムも楽しかったけど、実は、高いところ苦手なんだよね。 ・ほかの遊びもしてみたいな。</p> <p>○みかさんが変われば、みんないい気持ちで話し合っ、遊ぶことができるね。 ・みかさんだけじゃない。 ・周りのみんなも変わったほうがいい。 ・みかさんが悪いみたいになってる。 ・周りの子も考えたほうがいい。</p> <p>○このクラスもいろいろなタイプの人がいるから、みんなも考えてみよう。</p>	<p>みかさんの気持ちに寄り添った考えができるように、みかさんの行動の理由を考える。</p> <p>様々な立場に目を向けさせるために、限定的な言い方で発問する。</p>

<p>展開②</p>	<p>4 それぞれの行動の理由を知り、よりよい伝え方を考える。</p> <p>○どうしてそのタイプを選んだのか、同じタイプの人で理由を話そう。</p> <p>赤色：やりたいものが決まっているから。誰も言わないと進まないから。早く決めたいから。</p> <p>黄色：そこまでしてやりたいものでもないから。文句を言われると、あそびたくない気持ちになるから。</p> <p>青緑：仲のいい友達だから。話合いよりも早く遊びたいから。何をしたいかわからない。</p> <p>○クラスみんなが、いい気持ちで話せる伝え方に必要なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが進まなくて困っている人がいるから、何でもよくても、何か意見は言ったほうがいいのかも。 ・文句のつもりはないけど、強い言い方をしちゃうときがあるから、優しい言い方をする。 ・決められない人もいるから、2択にする。 ・どうしてもやりたいとき、文句を言っちゃうから、責めないようにする。 ・手を挙げるならできるかもしれない。 ・自分は後からでもいいから、先にみんなの意見を聞く。 ・自分が先に、○○しない？と声をかけてみる。 	<p>言語化が難しい児童もいるため、青緑のチームを中心に机間指導する。</p> <p>それぞれのグループで出た良い対話は共有していく。</p> <p>評価方法 各グループごとに一人、話し合いを録画してもらう。</p>
<p>終末</p>	<p>5 話し合いから、自分が友達に伝えるときに必要だと感じたことをまとめる。</p> <p>○今日の学習を通して、自分が友達に伝えるときに必要だと思ったことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めつける気はなかったけど、○○でいい？と聞くと、決めつけられた気持ちになる人がいたから、最初にみんなの意見を聞こうと思った。 ・みんなの意見をほめてから自分の意見を言ったらいいなって思った。 ・いろんなタイプの人があったから、その人に合わせた言い方が必要だと思った。 ・言い方がきつくなってしまうから、優しい言葉を使いたい。 <p>6 振り返りを共有する。</p> <p>○同じグループでも、一人一人必要なことは違うね。みんなが気持ちよく話し合えるように、今日気づいたことをどんどん試してみよう。</p>	<p>【評価規準】 周りのことを知ったうえで、伝え方の工夫をしようとしているか。</p> <p>【評価方法】 タブレットで配布したワークシート。</p>